

令和4年度地域おこし協力隊活動報告議事録

日 時 令和4年10月14日(金) 14:50～16:45

場 所 森町公民館 1階大会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

蛭沢振興係長より挨拶

2. 地域おこし協力隊活動報告

①山本さんからの報告

令和4年9月に地域おこし協力隊を退任した山本さんより資料を用いて説明。

～質疑応答～

岡嶋町長

拠点を持ちたいとのことだが、物件はあるけど貸してもらえないのか。

山本さん

物件があり、その持ち主もわかるが、連絡がつかない状況が多く借りることができない状況が続いている。

川村企画振興課長

事業には資金が重要だと思うが、それを調達するための計画やビジョンは現段階でどこまで出来ているのか。

山本さん

メイン事業については、助成金の活用を予定しており、5年の事業計画を作成、大方完成していたが、ゲストハウスの事業を追加したことにより大幅な軌道修正が必要となった。

渡島総合振興局 中川主事

創業において、やはり資金繰りや事業計画は重要である。初めの頃はお金を借りやすいので、初めに大きな投資が必要ならば、使い方等を計画して少しでも長く続く法人になればと思う。また、ゲストハウスだけでなく、シェアオフィスやコワーキングスペース等様々な考え方で人を巻き込めるというのもあると思うので、上手く組み合わせて運営して、負担にならないようなやり方ができればと思う。楽しみにしている。

遠藤委員長

森町に地域おこし協力隊として来て、一番良かったと思うことは何か。

山本さん

活動の中で、業務の遂行だけでなく、自分のやりたいことに挑戦できる時間が多くあったことが、良かったと思う。自己投資のための費用も町から出してもらい、3年間の活動を通して、今の姿になったことは良かったと思う点である。

宮崎委員

ゲストハウスは、連携協定を締結している学生を受け入れるということか。

山本さん

一般の方も想定しているが、一つの宿泊施設に長期で泊まるのは難しいと思うので、学生の優先度を上げたいと思っている。

佐藤委員

協力隊の任期が終わり、事業を起こしたいという方が出た場合に、軌道に乗るまでの町の補助等はあるのか。

岡嶋町長

起業支援金による補助があるが、資金面だけでなくそれ以外の課題に対しても柔軟に対応していきたいと考えている。

②菊地隊員からの報告

地域おこし協力隊の菊地隊員より資料を用いて説明。

～質疑応答～

渡島総合振興局 中川主事

北海道と東京とを行き来する人はあまりおらず、そういった経験から見えてくることもあるかと思う。地方に来ると都会の方は地味な印象を受けやすいが、そのイメージを変えようという気持ちを感じた報告だった。

金澤委員

器械体操をやっており、今後も学童保育で関わっていくとのことだが、例えば小学校の体育の授業で来ていただくことは可能か。

菊地委員

器械体操をやってはいたが、資格等を持っているわけでは無いので、それでも呼んでいただければこちらとしては問題ない。

金澤委員

先生によっては得意不得意もあるので、実際に教えていただければ、子供たちのモチベーションにも繋がると思うので、検討させていただく。

遠藤委員長

任期が残り1年半弱だが、何を仕事にして森町に残るのか。また、山本さんに誘われてきたとのことだが、来てみてどうだったか。

菊地隊員

一つ目の質問についてだが、現在の活動はボランティアか活動費によるもので、このまま任期が終わると収入源が無い状態となる。なので、活動の中で仕事になるものを探している状況なので、今後も色々なものに関わっていきたい。二つ目についてだが、森町はやりたいことにすぐに挑戦できる環境があり、他の地域でもそういう環境はあまりないので、その点良かったと思う。

宮崎委員

職員住宅は自分の住む場所をリノベーションしたのか。

菊地隊員

その通りで、今も住んでいる。費用は活動費から出しているが、足りない部分は自分でも出している。

宮崎委員

ジェスモナイトについて、建築資材にも使われるのか。

菊地隊員

外壁や内装等に使われている。

宮崎委員

森町の公共施設にも使ってもらえばいいのではないか。

菊地隊員

ただ使うだけではコストが高く、推奨できないと思う。

③木村隊員からの報告

地域おこし協力隊の木村隊員より資料を用いて説明。

～質疑応答～

岩島委員

「SUGIPEN」はどこで買えるのか。

木村隊員

ネット等での販売は行っていないので、直接私に連絡をいただきたい。

岩島委員

こういうものの製作は、これからの仕事に繋がる良い活動だと思った。

木村隊員

任期が終わった後のことも考えながら、今後も活動していきたいと思う。

遠藤委員長

文具が好きで、柿の木のボールペンや栗の木のボールペンを持っているが、およそ8,000円だったので、このペンは十分安いと思う。また、森町に来てみて印象はどうだったか。

木村隊員

森町は地元に似ていたもので、都会とのギャップ等は無かった。また、菊地隊員とも被るが、以前よりも時間に自由が利き、活動費も出してもらえて、やりたいことに挑戦できるのでありがたいと思っている。

④佐々木隊員からの報告

地域おこし協力隊の佐々木隊員より資料を用いて説明。

～質疑応答～

岡嶋町長

企業版ふるさと納税のチラシだが、内容が分かりやすく好評で、説明する側からしても使いやすいものだった。引き続き何かあればお願いしたい。

遠藤委員長

まだ始まったばかりということで、今後の夢はあるか。

佐々木隊員

まだ3年後に対する夢は無いが、自分の経験から、町の良さを町の人に知ってもらわないとPRできないので、もっと知ってもらい好きと言える環境をつくりたい。そのために、「Ymori」を始めとしたイベントを開催し、住民と触れ合う機会を増やしたいと思う。

⑤原田隊員からの報告

地域おこし協力隊の原田隊員より資料を用いて説明。

～質疑応答～

佐藤委員

私の所属する女性団体協議会には60～70歳の会員が多いのだが、研修会を行う際に講師としてストレッチ等の指導をしてもらえるのか。

原田隊員

スポーツやストレッチ等についての勉強も行っており、資格も持っているので可能である。

佐藤委員

今までは函館市から講師を呼んでいたのですが、そういった資格があるのであれば、ぜひ教えていただきたい。

岡嶋町長

今は整体等を行って、お金をもらえるのか。

原田隊員

開業等については、現在は法律の改正により実務経験が必要となったが、ボディケアやもみほぐしというような形であれば、収益は得られる。

遠藤委員長

本日は藤村委員が欠席のため聞けないが、中学校や高校では部活動のアウトソーシングが増えてきているので、話を聞いてみてはどうか。

⑥その他

佐藤委員

地域おこし協力隊の方々はものづくりに長けているので、今後森町をものづくりの町としていくのはどうか。ものづくりを目当てに人が滞在したり、またそこに仕事も生まれるので、二重三重に期待が持てる。若い人がこれだけいるので、皆さんが残ってもらえるような森町になればいいと思う。

3. 閉会